



越前水仙 (越前町)

「越前水仙」とは、越前海岸に咲く日本水仙の総称。越廼村の居倉地区が発祥地で、日本三大群生地のひとつとして広く知られています。冬が訪れるころ、水仙たちは寒さから身を守るように寄り添いながら、海岸風景を白く清々とつつみ込みます。一花茎に4~8の花弁をつけ、また香りは甘く清楚でミカンの芳香にも似ています。

理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙 福井の名所探訪④
越前水仙
- P2 「認知症病院での勤務を振りかえって」
- P3 家族は今「共に生きる」
- P4 THE病棟 さつまいもほり
- P5 トピックス
院内研究発表会・
交通安全教室・新入職員紹介
- P6 デイケアだより
外来診療担当医表
- P7 録画配信研修のお知らせ
- P8 研修案内(一般・専門職)
令和4年2月~



認知症病院での勤務を振りかえって

副医長 神谷 拓

いつも大変お世話になっております。つい先日、「桜の開花とともにやって来ました～」と調子に乗った着任のご挨拶をさせていただいたばかりですが、今年の開花を待たずにすこやかシルバー病院を去ることになってしまった神谷です。短い期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。この9ヶ月間、たくさんの方の診療に携わせていただきました。村田院長、伊藤先生と経験豊富な医師と並び3人体制で診療を行っているため、少しでもお二方に近づけるように、丁寧に診察することを心がけて参りました。主な業務は外来と病棟での診療になりますが、それぞれについて振り返っていこうと思います。

外来では、取り繕いなど様々な認知症症状に触れて来ましたが、その中で患者さんの葛藤に気がつくようになりました。例えば、自宅に籠りがちになっているという状況を聞くと、これまでは真っ先に意欲低下なのか？と考えていましたが、診察を重ねるうちに「うまく会話ができるだろうか」「周囲からボケていると思われたくない」など様々な心の動きが背景にあると気づくようになりました。認知症ケアをしていると、どうしても忙しさや大変さのために本人の気持ちを後回しにしてしまいます。接し方についても質問されることが多くありますが、悩んだ時にこそ患者さんの心に焦点を当て、患者さん目線で考えていただけると何かヒントが見つかるのではないかと思います。

病棟では、精神療法や内服薬の調整が通常業務となりますが、誤嚥性肺炎や尿路感染、転倒による怪我など、身体的な疾患に奔走し、高齢者の入院によるリスクを実感する日々でした。そういったリスクもあるため、慣れ親しんだ環境で過ごした方がその患者さんにとっては良いのではないかと判断した際には、外来で入院を打診されてもお断りしたこともありました。ご理解をいただければ幸いです。その一方で、お断りせざるを得なかった時は必ず「さらに何かお困りのことが出て来た時はいつでもご相談ください」とも付け加えるように心がけていました。認知症症状のために生活が立ち行かなくなっている時には、入院治療を要する時もたくさんあり、環境を変えるだけでもグッと症状が改善する時もあります。これからも入院のご相談などはお気軽にご連絡をしてください。

医師となってからこれまでずっと総合病院で働いていたこともあり、すこやかシルバー病院での勤務は初めてのことの連続でした。この規模の病院だからこそできる事がたくさんあることを知り、全体でこんなにも一体感を感じる病院があるとは思っていませんでした。だからこそ、病院スタッフがワンチームとなり、一人一人の患者さんに良い医療が提供できるのだと思います。今回、私は離れることになってしまいましたが、他の病院で認知症患者さんの相談を受けたら、自信を持ってこの病院を勧めようと思います。

最後になりますが、神谷の後任には、福井大学医学部附属病院から眞田医師が着任します。1年ほどの間に担当医が目まぐるしく変わってしまい、皆様にはご不便をおかけしますが、よろしく願い申し上げます。

「共に生きる」

M.M

昭和生まれの父は、頑固で厳しく、仕事に関しては職人気質で、いわゆる昔の父親像そのものといった感じでした。また、^{うちく}蘊蓄を自慢し、体力・若さも自慢であった父は、髪形や服装にも気を付け、いつも身ざれいにしているという印象でした。

そんな父でしたが、90歳近くになると、横になっていることが増え、だんだんと色々なことが面倒臭くなってきたのかなと感じていました。また、同じようなことを繰り返すことや辻褃の合わないことを言うこともありましたが、歳だから仕方がないぐらいに考えていました。

それがある時、急に足の痛みを訴え、足腰が立たなくなると、それからは坂道を転がるように、状態が悪くなっていきました。幻覚や妄想がひどくなり、夜も眠れなくなって昼夜逆転の生活になっていく。世話をしている母も高齢で、疲弊していく様子が分かりました。

そんなことがあり、先々のことを心配していた時に、地域包括センター相談員の方と相談する機会を得ました。その中で、すこやかシルバー病院さんを紹介していただき、入院することで、父の生活、家族の生活が落ち着くことができるのでは、と光が見えるように感じました。

入院してからは、先生や看護師さん、担当の職員の皆さんのおかげで、父の幻覚や妄想がなくなり、昼夜逆転生活が解消され、三度の食事をきちんと摂るといって規則正しい生活を送ることができています。コロナ禍でのタブレット越しの父との面会ですが、肌つやも良く、90歳とは思えないほどで、とても元気そうに見えます。また、我が家の事情をきちんと汲んで下さり、今後のことを考えて色々配慮していただいていることにも感謝しております。

これからは、これまでとは違った家族の形になると思いますが、父との家族の在り方を家族で考えていきたいと思っています。



The 病棟



さつまいもほり



2021年9月21日(火) 東病棟中庭の畑。5月に植えたさつまいもの収穫時期になりました。この日は、とてもいいお天気だったので患者様と一緒にさつまいもを収穫しました。

さつまいもは、手のひらサイズから大きなものまでサイズは色々ですが、30個程収穫できました。中には、顔の大きさ程のものもありました。



皆さんで、きれいに洗って大きさに合わせて選別しました。
皆さん美味しそうに召し上がっていました。また来年もできるといいな。

令和3年度 院内研究発表会

昨年度（令和2年度）に当院で実施した研究の、院内研究発表会が10月29日（金）に行われました。今回は、以下の2題の研究発表がありました。

1. 手荒れ改善のための一取り組み
～ベーター保湿ローションを使用して～：看護部 東病棟
2. 車椅子使用患者が椅子に移乗して食事することの利点：看護部 東病棟

聴講した職員からは、興味ある議題に対し質問が飛び交い、積極的な質疑応答が交わされました。今後は更に研究を深め、患者様へのより良い治療・ケアにつなげていきたいと思っております。

交通安全教室

12月10日（金）労働安全衛生委員会において、職員を対象とした交通安全教室を開催しました。最近、世間ではあおり運転でのトラブルが多発しているため、「あおり運転とその対処法について」という内容で、福井南警察署 交通課の署員の方に講義をお願いしました。

対処法として、自分があおり運転をされた場合は、コンビニに入る等、その車を追い越させ、車のナンバー、色、形、運転手の性別を警察に報告する。また、逆に同じ行動をとってやり返さない。された行為に対して腹を立てず大人になる（落ち着く）ことが大切であることを学びました。あおり運転は、してもされても事故につながる可能性があります。みなさん、時間と心に余裕をもった



運転を心掛けましょう!



はじめまして!!

新入職員紹介



西病棟
三村看護師

令和3年10月より西病棟で勤務しています三村叶子と申します。以前は大阪の病院で勤務していましたが、縁あってすこやかシルバー病院で働かせていただくことになりました。

認知症の患者様にとって、接し方は症状に大きく影響する要因の一つと考えています。入院生活を穏やかに安心して過ごしていただけるように、患者様の気持ちを大切にしながら関わっていきたくと考えています。

9月
ダリアの
ディフューザー
作り

デイケアだより
デイケアついででの活動をご紹介します！

10月
秋の
絵皿作り



様々な色のお花紙を重ねて、ダリアのディフューザー（芳香剤）を作りました。ラベンダー、グレープフルーツ、ローズマリーのなかから好きなものを選んでいただき、アロマスプレーで香りをつけました。



「自宅に飾った」とお写真を持ってきてくださる利用者さんもいらっしゃいました。



秋のモチーフを紙皿の中央に貼り、その周りをウサギやどんぐりのパーツで飾っていただきました。

どこに何を貼ると良いのか、いろいろと配置を並び替えながら、オリジナリティ溢れる作品を作ってくださいました。



診療体制が変更となりました

医師の異動にともない、令和4年1月から診療体制が変更になりました。診療体制は下記の通りです。ご予約の際には、お電話をお願いします。



外来診療担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
村田	午前	再診	/	初診(再診)	再診	初診(再診)
	午後	初診(再診)		再診		再診
伊藤	午前	再診	初診(再診)	/	再診	再診
	午後		再診			
さなだ 眞田	午前	初診	初診(再診)	/	初診(再診)	再診
	午後	/			再診	初診(再診)

録画配信研修のお知らせ

研修
テーマ

認知症の理解とせん妄、 BPSDの予防

(病院での対応をもとに)

内容(1時間程の研修です)

- 認知症とせん妄
- BPSDの予防
- 事例と対応
- まとめ

講師

福井県済生会病院
認知症看護認定看護師

藤本 真央氏



YouTubeで
現在動画配信中

令和4年12月31日(土) 24:00まで

※YouTubeでの配信のため、
途中、広告が入る場合がございます。
ご了承ください。

申込み方法 下記メールアドレスへメールにてお申し込みください。

kaigo@fukui-sukoyaka-silver.or.jp

- ※申込みの際、氏名、事業所名、電話番号、視聴予定人数をお知らせください。
折り返しパスワードをお知らせします(返信に数日かかる場合もございます)。
- ※受信拒否設定をされていると届きませんので、ご注意ください。

申込
先

福井県立すこやかシルバー病院

〒910-3623 福井市島寺町93-6 TEL.0776-98-2700



【令和4年2月～】

福井県立すこやかシルバー病院 研修案内

リニューアルすこやか 2022 冬号 Vol. 105 令和4年2月発行

●発行所／一般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター
福井県立すこやかシルバー病院 〒910-3623 福井市島寺町93-6 TEL(0776)98-2700 FAX(0776)98-2793
http://www.fukui-sukoyaka-silver.or.jp

注意事項

- 定員以上の受付は致しません
- 体調不良の方は来場をご遠慮ください
- 検温の実施(37.5℃以上の場合、参加はご遠慮ください)
- 手指消毒の実施(入場の際消毒をお願いします)
- マスク着用(各自ご準備ください)
- 換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整をお願いします)
- 座席指定制(指定された席以外利用できません)
- 参加者氏名・住所・電話番号の記載
- 専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可能(所属施設の許可がない場合、申し込みはご遠慮ください)

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町93-6) 2階講堂

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の進行段階別症状と対応	2月18日(金)	13時30分～15時	● 認知症の進行に伴う症状の変化について ● 認知症の進行に合わせた対応について	福井県立すこやかシルバー病院 認知症看護認定看護師 荒井岐枝看護師長	20名
認知症に関する制度と 専門病院受診方法	2月24日(木)	13時30分～15時	● 介護保険制度の全体像について ● 介護保険サービスの実際の利用方法について ● 認知症専門病院受診について	福井県立すこやかシルバー病院 谷口久良精神保健福祉士	20名
認知症の基礎知識と 対応のポイント	2月25日(金)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状について ● 認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 高松佳代看護師	20名
認知症を予防するための 基礎知識	3月10日(木)	13時30分～15時	● 認知症の危険因子や脳を鍛える対策 ● 脳を元気にする食事のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 田中あゆみ管理栄養士	20名
認知症高齢者の排泄援助	3月11日(金)	13時30分～15時	● 認知症高齢者が排泄時に援助を要する状況 ● 認知症高齢者に対する排泄時の介護のポイント	福井県立すこやかシルバー病院 辻 真彰副看護師長	20名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	3月18日(金)	13時30分～15時	● 認知症の危険因子や毎日の生活の中で脳を鍛える対策について ● 心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 下口さゆり作業療法士	20名
認知症高齢者の口腔ケア	3月25日(金)	13時30分～15時	● 口腔ケアの重要性について ● 認知症高齢者が口腔ケア時に援助を要する状況について ● 認知症高齢者の方の口腔ケア事例	福井県立すこやかシルバー病院 石丸智佳子副看護師長	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町93-6) 2階講堂

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の理解とせん妄、 BPSDの予防 (病院での対応をもとに)	2月16日(水)	15時～16時30分	● 認知症の原因疾患と症状 ● せん妄、BPSDの予防とケア ● 症状ごとの事例と対応	福井赤十字病院 認知症看護認定看護師 山本 隆氏	24名
認知症高齢者の コミュニケーション障害の みかたと対応 ～言語聴覚士の立場から～	3月3日(木)	13時30分～16時30分	● 認知症におけるコミュニケーション障害をひもとく ● 認知機能とコミュニケーション能力のアセスメント ● よりよいコミュニケーションの取り方のポイント	帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 教授 植田 恵氏	24名
在宅で生活する認知症高齢者の 家族介護者への支援	3月5日(土)	13時30分～16時30分	● 在宅介護を継続するための介護家族へのアプローチ ● 認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	神戸市看護大学看護学部 准教授 丸尾智美氏	24名
認知症の人を介護する 家族の支援	3月17日(木)	13時30分～16時30分	● 在宅介護を継続するための介護家族へのアプローチ ● 認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	朝日大学 保健医療学部看護学科 准教授 木村暢男氏	24名
食べなくなった 認知症高齢者の支えかたⅠ (自尊感情をたかめるケア)	3月19日(土)	14時30分～17時30分	● 認知症の原因疾患ごとに食不振の原因を説明、 脳の仕組みにも言及する	愛知学院大学 心身科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏	24名
食べなくなった 認知症高齢者の支えかたⅡ (消去法と帰納法)	3月20日(日)	9時30分～12時30分	● 認知症の方の食不振に対するアセスメントと 食支援の実践	愛知学院大学 心身科学部健康科学科 准教授 牧野日和氏	24名
アドバンス・ケア・プランニング ～認知症高齢者と 家族の意思決定～	3月23日(水)	13時30分～16時30分	● アドバンス・ケア・プランニング(将来の医療・ケア について、本人の意思決定を支援するプロセス)に ついて ● 認知症高齢者と家族の事前意思決定と介入について	佐久大学 看護学部看護学科 講師 二神真理子氏	24名
認知症高齢者の 残存機能を生かした BPSDへの対応	3月24日(木)	13時30分～16時30分	● 認知症疾患ごとに出現する障害、BPSD、残存機能 ● 脳の残存機能を活かしたBPSDへの介入 ● 心理的側面への介入	京都府立医科大学 医学部看護学科 講師 占部美恵氏	24名
認知症高齢者の転倒予防	3月28日(月)	13時30分～16時30分	● 認知症の症状と転倒に関連する症状 ● 認知症高齢者の転倒の特徴 ● 認知症高齢者の転倒予防のための工夫	京都橘大学 看護学部看護学科 教授 征矢野あや子氏	24名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修は中止となる場合がございます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL(0776)98-2700